

# 第 296 回 日本皮膚科学会東海地方会 プログラム

日 時 2021 年 6 月 20 日 (日) 11:00~15:47

会 場 WEB 開催

「お知らせとお願い」を必ずご確認ください。

## 生涯教育講演会

日時 2021 年 6 月 20 日 (日) 11:00~12:00

## ランチオンセミナー

日時 2021 年 6 月 20 日 (日) 12:10~13:10

## 東海地方会 演題発表

日時 2021 年 6 月 20 日 (日) 13:20~15:47

## 東海地方会 事務局

ホームページ : <http://jd-tokai.umin.jp>

お問い合わせ E-mail : [tdjda-hq@umin.ac.jp](mailto:tdjda-hq@umin.ac.jp)

## 開催担当

岐阜大学大学院医学系研究科・皮膚病態学

〒501-1194 岐阜市柳戸 1-1

TEL : 058-230-6397 / FAX : 058-230-6396

## お知らせとお願い

COVID-19 感染拡大の収束が見込めないことから、第 296 回東海地方会は Zoom ウェビナーを用いた WEB 開催とさせていただきます。

参加には事前の参加登録が必要となります。以下のご案内通りご準備いただきますよう、お願い申し上げます。

東海地方会当日はプログラム開始 30 分前よりログイン可能となります。プログラム開始までの間、質疑応答の方法などをスライドにてご案内させていただきます。早めにログインして頂き、ご確認ください。

### 1. 参加される皆様へ

#### ◆ご準備いただくもの

- ・ Zoom のアプリケーション  
公式ホームページ <https://zoom.us/download> よりダウンロードが可能です。
- ・ インターネット回線  
有線をご利用いただくなど、より安定したネットワーク環境を確保してください。
- ・ 視聴デバイス：PC、タブレット、スマートフォン  
スペックによっては、長時間のスムーズな視聴が困難な場合がございます。
- ・ 内蔵もしくは外付けのスピーカーやヘッドホン、マイク

#### ◆参加受付

登録期間：6 月 8 日（火）～6 月 20 日（日）

登録方法：第 296 回専用ホームページ <http://www.marobon.com/tjda296/>へアクセスして頂き、参加登録ボタンより申込画面へお進みください。必要事項をご入力いただき、登録が完了いたしますと、当日のアクセス方法・パスワードがメールにて通知されます。

#### ◆単位受付

- ・ 旧専門医制度（6 単位）：6 月 20 日（日）10:30～14:47 まで
- ・ 新専門医制度（一般演題 2 単位）：生涯教育講演会の開始 30 分前～一般演題開始後 15 分まで登録可能

※WEB 配信視聴ログの入室から退室までの滞在時間をもって受付いたします。このログは当日の Zoom ウェビナー URL にアクセスした時とアクセスを切断して終了した際に記録されます。

#### 【WEB 開催時のトラブルが生じた場合について】

サーバーダウンなどのトラブルが生じた際には、その旨を日本皮膚科学会に報告をします。時間通りにログインできなかった場合でも、まずはログインをして頂きログイン履歴を残して頂くようお願い致します。履歴は担当校から日本皮膚科学会へ送ります。単位受付が承認されるか否かは個別の対応になります。個々のご相談に事務局が対応しかねる場合がございますのでご了承ください。アクセス集中によるサーバーダウンを回避するため、アクセス頂くデバイスは 1 つとし、早めにログインして頂くよう重ねてお願い申し上げます。

## 2. 口演発表の皆様へ

### ◆データ受付

- ・事前に音声入りの発表データを作成し、下記の通りご提出ください。

提出期限：6月17日（木）

提出先：<http://www.marobon.com/tjdja296/>へアクセスして頂き、案内に従って音声付き発表データをアップロードしてください。Zoom使用の性質上、特にプライバシー保護指針に則った内容でデータをご準備ください。

- ・ファイル名は「演題番号\_演者名」にしてください。
- ・データはご発表後、事務局にて責任を持って消去いたします。
- ・スライド供覧から一般演題への変更はできません。

### ◆口演発表

- ・一般演題：口演5分 質疑応答2分
- ・スライド供覧：口演3分 質疑応答2分

### ◆利益相反（COI）申告について

- ・日本皮膚科学会 COI ガイドラインに準じて、1枚目のスライドに COI 申告を掲載してください。

## 3. 質疑応答について

- ・Zoomの手上げ機能にて質問をお願いいたします。
- ・座長の指示に従い、ご所属とお名前を述べてから簡潔に礼節を持って発言してください。

## 4. 変更について

- ・「演題名」「演者名」「プログラム用60文字抄録」の変更は、学会前日までに事務局へメールにて申告してください。「スライド供覧」から「一般演題」への変更は学会進行に支障が出ますので、ご遠慮ください。
- ・「日皮会誌用200文字抄録」の変更は、変更したデータを学会終了1週間後までに担当校へ電子メールにてお送りください。

岐阜大学大学院医学系研究科皮膚病態学：yoko@gifu-u.ac.jp

## 5. 事務局業務の委託先について

2021年7月1日（木）より株式会社 オフィス・テイクワンから株式会社永大企画へ変更となります。今後メールアドレス、電話番号を取得予定です。詳細は今後ホームページに掲載いたしますのでご参照ください。

## 6. ホームページについて

今後の東海地方会の開催の有無、形態などの情報はホームページに掲載していく予定ですのでご確認ください。

## 『皮膚疾患に対するバイオ治療に関する最近の話題』

演 者 神谷 秀喜

木沢記念病院皮膚科・皮膚がんセンター部長

## 略 歴

1987年3月	山形大学医学部医学科卒業
1987年5月	岐阜大学医学部皮膚科入局
1987年6月～11月	岐阜県総合医療センター皮膚科研修医
1988年6月～1989年1月	岐阜大学医学部第2内科研修医
1989年5月～1993年3月	国家公務員共済組合連合 虎の門病院皮膚科医員
1993年4月～1999年6月	岐阜大学医学部皮膚科助手・病棟医長
1999年7月～2009年3月	岐阜大学大学院医学研究科 皮膚科講師
2009年4月～現在	木沢記念病院皮膚科・皮膚がんセンター部長

休 憩

12:00～12:10 (10分)

『アトピー性皮膚炎治療：バリシチニブの最適症例を考える  
～安全に使用するために注意すべきこと～』

演者 鎌田 昌洋

帝京大学医学部皮膚科准教授、病棟医長

共催：日本イーライリリー株式会社

略歴

2004年3月	東京大学医学部医学科卒業
2004年5月	国立国際医療研究センター初期研修医
2006年4月	東京大学医学部附属病院皮膚科後期研修医
2006年12月	三井記念病院皮膚科常勤医
2012年3月	東京大学大学院医学系研究科外科学専攻皮膚科学講座卒業
2012年4月	東京大学医学部附属病院皮膚科・助教
2013年4月	米国 Duke University Medical Center, Department of Immunology に Research Associate として留学 Thomas F. Tedder 教授の下、制御性 B 細胞の研究に従事
2015年10月	東京大学医学部附属病院皮膚科助教、医局長
2016年2月	東京大学医学部皮膚科講師、医局長
2017年7月	帝京大学医学部皮膚科講師、病棟医長
2019年4月	帝京大学医学部皮膚科准教授、病棟医長

休憩

13:10～13:20 (10分)

### 1 (一般) スフィンゴ脂質による毛幹成長促進効果に関する研究

中村 荘太<sup>1)</sup>、高橋 秀樹<sup>1)</sup>、中池 佑紀美<sup>1)</sup>、永谷 貴弘<sup>1)</sup>、増田 健二<sup>1)</sup>、辻 孝<sup>2)</sup>

<sup>1)</sup>株式会社アジュバンコスメジャパン

<sup>2)</sup>国立研究開発法人理化学研究所 生命機能科学研究センター

スフィンゴ脂質には、ミノキシジルと同等以上の最大毛幹長、及び毛幹径、毛幹伸長速度を増加させる効果があることが判明した。

### 2 (ス) ドキソルビシン点滴血管漏出後リコール現象を起こした 1 例

磯部 里香子、野田 達宏、明石 憲佳、下村 麻衣子、村上 のぞみ、花井 有里子、小泉 遼、満間 照之

一宮市立市民病院

症例 79 歳男性、悪性リンパ腫に対し行ったドキソルビシンの血管外漏出がみられた。3 週間後他部位から同薬剤を投与した。

### 3 (一般) 特発性後天性全身性無汗症 (AIGA) が疑われた振動蕁麻疹の一例

山本 泰熙、大嶋 雄一郎、波多野 詩乃、小林 三佐子、安藤 与里子、柳下 武士、渡辺 大輔

愛知医科大学

33 歳女。AIGA 疑いにて発汗試験を行ったが全身に発汗を認めた。振動誘発試験で膨疹がみられ振動蕁麻疹の診断に至った。

### 4 (一般) 胸腺癌に併発した丘疹紅皮症(太藤)の 1 例

安田 滯奈<sup>1,2)</sup>、岩田 洋平<sup>1)</sup>、齋藤 健太<sup>1)</sup>、田中 義人<sup>1)</sup>、須田 隆<sup>3)</sup>、杉浦 一充<sup>1)</sup>

<sup>1)</sup>藤田医科大学、<sup>2)</sup>藤田医科大学岡崎医療センター

<sup>3)</sup>藤田医科大学医学部呼吸器低侵襲外科学講座

76 歳男性。腋窩、腹部に皰壁を避けそう痒を伴う紅斑あり。丘疹紅皮症と診断し精査にて胸腺癌を認めた。腫瘍摘出にて皮疹は消退。

### 5 (ス) 角層下膿疱症の一例

大見 修也、竹中 花予、井上 優貴、吉川 真人

名古屋第一赤十字病院

特に既往のない 74 歳女性。体幹と四肢に、自覚症状を欠き、環状に配列する紅斑、落屑を生じた。皮膚生検で角層下膿疱症と診断。

## 6 (ス) ペムプロリズマブ投与中に生じた水疱性類天疱瘡の 1 例

植田 麻理子<sup>1</sup>、山田 尚人<sup>1</sup>、竹田 さゆり<sup>1</sup>、梶村 有里子<sup>1</sup>、嘉陽 織江<sup>1</sup>、滝 笑津子<sup>1</sup>、清水 真  
名古屋医療センター

72 歳男性。肺腺癌に対してペムプロリズマブの投与開始後、前胸部に紅斑が出現した。病理組織にて水疱性類天疱瘡と診断した。

## 7 (一般) 集学的治療が奏功した難治性落葉状天疱瘡の 1 例

藤井 建人<sup>1</sup>、松山 かなこ<sup>1</sup>、周 円  
岐阜大学

73 歳女性。落葉状天疱瘡にステロイドパルス療法、免疫抑制剤内服、DFPP、IVIG 併用後改善。その後ステロイド減量するも再燃無し。

## 8 (一般) 15 年間の寛解を経て再燃した抗 MDA5 抗体陽性皮膚筋炎の一例

牧原 実紗子<sup>1</sup>、室 慶直<sup>1</sup>、武市 拓也<sup>1</sup>、秋山 真志<sup>1</sup>  
名古屋大学

42 歳女性。20 年前に皮膚筋炎と診断。治療開始後 5 年で寛解、経過観察。15 年後に皮疹と肺病変が再燃、抗 MDA5 抗体の再陽性化を確認。

## 9 (一般) 消化管穿孔をきたした悪性萎縮性丘疹症 (Degos 病) の 1 例

伊藤 裕幸<sup>1,2)</sup>、井上 智子<sup>1)</sup>、杉浦 一充<sup>2)</sup>  
1) 公立西知多総合病院、2) 藤田医科大学

45 歳、男性。中心萎縮性の穿掘性丘疹を認め、生検で悪性萎縮性丘疹症と診断した。診断後に消化管穿孔起こし緊急入院となった。

10 (一般) *ABCC6* 遺伝子変異を認めた弾性線維性仮性黄色腫の 1 例

松尾 真帆<sup>1)</sup>、永井 美貴<sup>1)</sup>、岡村 直之<sup>2)</sup>、丹羽 宏文<sup>1)</sup>、岩田 仁<sup>3)</sup>、岩永 聡<sup>4)</sup>、  
室田 浩之<sup>4)</sup>

1) 岐阜県総合医療センター、2) 岐阜大学、3) 同病理診断科、4) 長崎大学大学院

45 歳女性。20 代から頸部のしわを自覚。線維と *ABCC6* における p.Q378X 遺伝子変異を認め、弾性線維性仮性黄色腫と診断。

11 (ス) 下腿に結節性紅斑様皮疹を呈し顔面神経麻痺を合併した  
サルコイドーシスの一例

竹中 花予<sup>1</sup>、大見 修也<sup>1</sup>、吉川 真人<sup>1</sup>、井上 優貴<sup>1</sup>  
名古屋第一赤十字病院

41 歳男性。両下腿に浸潤を触れる紅斑を生じ、生検で類上皮肉芽腫を認めた。サルコイドーシスの診断後、顔面神経麻痺を生じた。

## 12 (ス) 右頸部・右腋窩に生じた皮膚腺病の一例

宮崎 朗<sup>1)</sup>、村瀬 千晶<sup>1)</sup>、上野 絵里香<sup>1)</sup>、安達 ルナ<sup>1)</sup>、森 章一郎<sup>1)</sup>、鈴木 康弘<sup>2)</sup>、  
手塚 宜行<sup>3)</sup>、秋山 真志<sup>1)</sup>

<sup>1)</sup>名古屋大学、<sup>2)</sup>同腎臓内科、<sup>3)</sup>同中央感染制御部

58歳男性。頸椎前方固定術後、右頸部皮下膿瘍が出現し難治。膿の結核菌 PCR 陰性であったが、抗酸菌培養で結核菌を検出。

## 13 (一般) 陰圧閉鎖療法を用いて治療した MRSA による足膿瘍の一例

黒田 ケイ<sup>1)</sup>、村瀬 千晶<sup>2)</sup>、渡邊 直樹<sup>1)</sup>、山田 宏毅<sup>3)</sup>、武藤 義和<sup>4)</sup>、秋山 真志<sup>2)</sup>

<sup>1)</sup>公立陶生病院、<sup>2)</sup>名古屋大学、<sup>3)</sup>公立陶生病院整形外科、<sup>4)</sup>同感染症内科

75歳男性。自宅で左足受傷後急速に膿瘍を形成。創部培養で MRSA 陽性。過去1年間に医学的処置や入院歴は認めず市中型 MRSA と診断。

## 14 (一般) アトピー性皮膚炎既往のない乳児に生じたカポジ水痘様発疹症の一例

壺井 友里恵<sup>1)</sup>、羽田野 詩乃<sup>1)</sup>、本間 仁<sup>2)</sup>、河原 幸平<sup>2)</sup>、渡辺 大輔<sup>1)</sup>

<sup>1)</sup>愛知医科大学、<sup>2)</sup>同小児科

7ヶ月女児。家族歴に母のアトピー性皮膚炎。発熱、全身に紅色小水疱の集簇があり、Tzank 試験陽性でカポジ水痘様発疹症と診断した。

## 15 (ス) 手指に生じた Extraskletal chondroma の 1 例

渡邊 清未<sup>1,2)</sup>、欠田 成人<sup>2)</sup>、澤田 裕美<sup>1,2)</sup>、山中 恵一<sup>1)</sup>

<sup>1)</sup>三重大学、<sup>2)</sup>済生会松阪総合病院

40代女性。左中指に初診4年前に自覚し1カ月前から増大する豌豆大の皮下結節。全摘し診断。皮膚エコーが有用であった。

## 16 (ス) 高齢者の右側頭部に単発で生じた異形線維黄色腫の 1 例

有沢 友希<sup>1)</sup>、菅原 京子<sup>1)</sup>、山東 優<sup>1)</sup>

小牧市民病院

87歳男性。右側頭部の表面の潰瘍化した隆起性病変を主訴に受診。病理組織学、免疫組織学的所見より異型線維黄色腫と診断した。

## 17 (一般) 四肢に発生した単発性グロムス腫瘍の 2 例

加古 志織<sup>1)</sup>、澤田 啓生<sup>1)</sup>

名古屋市立大学医学部附属西部医療センター

四肢に発生した単発性グロムス腫瘍を2例経験した。いずれも圧痛を伴う結節を認め、組織学的には glomangioma の像であった。



## 18 (一般) 毛芽腫が併存した脂腺母斑の 17 歳男性例

野田 奈津美<sup>1)</sup>、後藤 祐介<sup>1)</sup>、渡部 直樹<sup>2)</sup>、田中 卓二<sup>2)</sup>、加納 宏行<sup>1)</sup>

<sup>1)</sup>岐阜市民病院、<sup>2)</sup>同病理診断科

若年者の脂腺母斑で二次性腫瘍合併は比較的まれ。毛芽腫と基底細胞癌の鑑別に CK20 陽性メルケル細胞の免疫染色が有用だった。

## 19 (一般) 右耳垂部脂腺母斑から発生した基底細胞癌の一例

中村 香菜<sup>1)</sup>、安井 由希子<sup>1)</sup>、中村 元樹<sup>1)</sup>、宮崎 愛子<sup>1,2)</sup>、小田 隆夫<sup>1,2)</sup>、加藤 裕史<sup>1)</sup>、森田 明理<sup>1)</sup>

<sup>1)</sup>名古屋市立大学、<sup>2)</sup>JA 愛知厚生連海南病院

29 歳、男性。生下時からの右耳垂部黄色疣状局面より黒色結節が出現したため全摘切除術を施行し、基底細胞癌の診断となった。

## 20 (一般) 骨・硬膜浸潤を伴う頭部巨大有棘細胞癌に対し、化学放射線療法が奏功した 1 例

杉岡 恭子<sup>1)</sup>、刑部 全晃<sup>1)</sup>、齋藤 拓郎<sup>1)</sup>、渡邊 清未<sup>1)</sup>、豊増 泰<sup>2)</sup>、中井 康雄<sup>1)</sup>、波部 幸司<sup>1)</sup>、山中 恵一<sup>1)</sup>

<sup>1)</sup>三重大学、<sup>2)</sup>同放射線科

40 代男性。骨・硬膜浸潤を伴った頭部有棘細胞癌、多発リンパ節転移(StageIV cT4bN2M0)に対し CA 療法、放射線治療を施行した。

## 21 (一般) 表在播種型汗孔角化症から生じた有棘細胞癌の 1 例

志賀 弘<sup>1)</sup>、加藤 裕史<sup>1)</sup>、中村 香菜<sup>1)</sup>、加納 慎二<sup>1)</sup>、中村 元樹<sup>1)</sup>、森田 明理<sup>1)</sup>

名古屋市立大学

86 歳、男性。表在播種型汗孔角化症から生じた有棘細胞癌に対して切除術を施行、その後も複数部位に有棘細胞癌が出現している。

## 22 (一般) 皮膚型平滑筋肉腫の 1 例

福田 晃洋<sup>1,2)</sup>、有馬 豪<sup>1)</sup>、岩田 洋平<sup>1)</sup>、杉浦 一充<sup>1)</sup>

<sup>1)</sup>藤田医科大学、<sup>2)</sup>刈谷豊田総合病院

79 歳、男性。1 年前より左肩甲骨部に腫瘤が出現。近医で平滑筋肉腫を疑われ当科へ紹介。拡大切除し皮膚型平滑筋肉腫と診断。

## 23 (一般) 放射線単独療法が奏功した原発性皮膚びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫 (PCDLBCL) の 1 例

炭竈<sup>すみがま</sup>晏奈<sup>あんな</sup><sup>1)</sup>、市來 尚久<sup>1)</sup>、松山 かなこ<sup>1)</sup>、宮崎 龍彦<sup>2)</sup>、周 円<sup>1)</sup>

<sup>1)</sup>岐阜大学、<sup>2)</sup>同病理部

80 歳男。1 か月前から右下眼瞼に丘疹があり急速に増大。生検にて上記と診断、放射線治療で縮小し再発・転移なく経過。

## 第 297 回 日本皮膚科学会東海地方会 予告

---

日 時：2021 年 9 月 26 日（日） 12:00～17:00（予定）

会 場：ウインクあいち（COVID-19 の状況により WEB 開催となる可能性もございます。）

演題受付：2021 年 6 月 23 日（水）～7 月 27 日（火）

申 込 先：オンライン受付

日本皮膚科学会東海地方会ホームページ

<http://jd-tokai.umin.jp/>

### 演題申込方法

- 東海地方会 HP の「演題登録」ページから要項に従って登録してください。
- 「日皮会誌」掲載用抄録（200 文字以内）も登録時に入力が必要です。
- 演題受領通知は登録完了後にメールが自動配信されますので必ず確認してください。

### 発表方法

- 一般演題：口演 5 分、質疑応答 2 分／スライド供覧：口演 3 分、質疑応答 2 分
- 詳細は演題受付の締切後、メールにてご案内いたします。

### スケジュール

12:00 ランチョンセミナー

13:10 地方会 演題発表

### 第 297 回担当校

愛知医科大学皮膚科学講座

担当：岩下 宣彦

E-mail：iwashita.nobuhiko.942@mail.aichi-med-u.ac.jp

## 事務局便り 2021年6月

### ●東海地方会開催日程

	開催日	会場	担当校
第 297 回	2021 年 9 月 26 日 (日)	ウインクあいち	愛知医科大学
第 298 回	2021 年 12 月 12 日 (日)	ミッドランドホール	名古屋大学
第 299 回	2022 年 3 月 13 日 (日)	名古屋近郊	名古屋市立大学
第 300 回	2022 年 6 月 予定	未定	名古屋大学

### ●2021 年度 年会費請求について

2021 年度の年会費 4,000 円【会員期間 2021 年 4 月 1 日～2022 年 3 月 31 日】の請求書を各会員にお送りいたしました。コンビニ専用振込票の入金期限（2020 年 3 月 31 日）は既に過ぎていますので、ご入金はまだの場合は次の口座にご入金ください。

ゆうちょ銀行 ○八九店（ゼロハチキュウ） 当座 0056706 日本皮膚科学会東海地方会

なお、規約により 2 年間未納の場合は会員資格を失いますのでご注意ください。

### ●学会ホームページをご活用ください <http://jd-tokai.umin.jp/> > 地方会事務局

- ・ 入会申込書 ・ 住所変更届 ・ 留学届（休会願） ・ 帰国届 ・ 退会届 がご利用できます。
- ・ 評議員会議事録、申し合わせ事項が閲覧できます。 パスワード：tdjda

### ●変更届ご提出のお願い

転居や転勤された場合には、かならず当会事務局へ変更届をお送りください。プログラムはメール便で発送しますので、変更届の未提出はプログラムなどが届かない原因となります。

### ●事務局交代

2020 年 4 月 1 日より、地方会事務局は三重大学医学部皮膚科が担当しております。

### ●2020 年度 評議員（2021 年 6 月 1 日現在）

会長	山中 恵一	三重大学	評議員	岩下 宣彦	愛知医科大学
評議員	山本 晋也	三重大学	評議員	安藤 聖美	みよし市民病院
評議員	山際 秋沙	鈴鹿中央総合病院	評議員	中瀬古裕乃	よもぎ台皮膚科クリニック
評議員	磯田 憲一	みえひふ科クリニック	評議員	中村 元樹	名古屋市立大学
評議員	水谷 陽子	岐阜大学	評議員	久保 良二	蒲郡市民病院
評議員	脇田 智子	岐阜赤十字病院	評議員	仁上 律子	しおがま皮膚科クリニック
評議員	雄山 瑞栄	おやま皮膚科クリニック	評議員	岩田 洋平	藤田医科大学
評議員	横田 憲二	名古屋大学	評議員	山北 高志	刈谷豊田総合病院
評議員	稲垣 克彦	東濃厚生病院	評議員	佐々木良輔	あつた皮膚科クリニック
評議員	星野 慶	星野皮膚科			

# 変 更 届

	新	旧
ふりがな		
氏 名		
E-mail		
ご自宅住所	〒	〒
	TEL : FAX :	TEL : FAX :
ご所属先		
ご所属先住所	〒	〒
	TEL : FAX :	TEL : FAX :
書類送付先	ご自宅 ・ ご所属先	

日本皮膚科学会東海地方会 事務局代行

〒451-0075 名古屋市西区康生通 2-26 株式会社 オフィス・テイクワン内

FAX : 052-508-8540 / E-mail : tdjda-hq@umin.ac.jp

変更届は当事務局に郵送またはFAX、メールにてお送りください。

日本皮膚科学会の事務局とは異なりますので、ご注意ください。